

# 平成30年度県立高等学校教員と公立中学校教員との 人事交流に関する基本要綱（案）

義務教育課

高校教育課

## 1 目的

県立高等学校に所属する教員（以下「高等学校教員」という。）と公立中学校及び特別支援学校に所属する教員（以下「中学校教員」という。）との間において人事交流を行うことによって、中学校及び特別支援学校と高等学校が一層連携して教育実践を深め、授業や学習の改善に向けた取組を活性化させるとともに、教え方や学び方の質の転換を図り、本県教育の一層の充実に資することを目的とする。

## 2 交流の方法

市町村教育委員会（市町村学校組合教育委員会を含む。以下同じ。）の協力を得て、高等学校教員を中学校教員に、中学校教員を高等学校教員にそれぞれ選考により採用する。

## 3 交流の期間

期間は、おおむね3年間とする。

## 4 交流対象者

対象者は、必要な教員免許状を所有し、教職経験豊かなもののうち、校長及び市町村教育委員会の推薦に基づき県教育委員会が適当と認める者とする。

## 5 給与上の取り扱い

給料表の適用を異にして異動した場合の取扱いに準じて計算し、決定するものとする。

## 6 その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。